

# I 2019年9月入学および2020年4月入学 公立はこだて未来大学大学院博士(前期)課程 留学生特別選抜概要

## 1 募集人員

システム情報科学研究科 システム情報科学専攻

4月入学 … 若干名

9月入学 … 若干名

## 2 試験期日

出願資格審査申請期間 2019年 6月 3日(月)～ 6月10日(月)

出願期間 2019年 6月24日(月)～ 7月 5日(金)

試験日 2019年 8月 7日(水), 8日(木)

合格発表 2019年 8月16日(金)

## 3 入試会場

公立はこだて未来大学(函館市亀田中野町116番地2)

・函館バス 55A・C系統「赤川」行

「函館駅前」乗車「はこだて未来大学」(所要時間 約45分)下車 徒歩約1分

「五稜郭」乗車 「はこだて未来大学」(所要時間 約25分)下車 徒歩約1分

・函館バス 55F系統「赤川」行

「五稜郭」乗車 「はこだて未来大学」(所要時間 約25分)下車 徒歩約1分

# II 出願および選抜

## 1 出願資格

留学生特別選抜に出願できる者は、次の(1)(2)のすべてに該当する者

(1) 出入国管理局及び難民認定法に定める「留学」の在留資格を有する者または入学時に取得できる者

(2) 次のいずれかに該当する者

(a) 大学を卒業した者および2020年3月31日までに卒業見込みの者

(b) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者または2020年3月31日までに授与される見込みの者

(c) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者

(d) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者

(e) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者

(f) 外国の大学その他の外国の学校(その研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了することおよび当該外国の学校教育制度において位置

付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者および2020年3月31日までに授与される見込みの者

- (g) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (h) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (i) 本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で2020年3月31日までに22歳に達する者

注1) 上記のうち、(2)(i)は、短期大学、高等専門学校、専修学校・各種学校の卒業者など、大学卒業資格を有していない者を対象としています。(2)(i)の出願資格により出願しようとする者は、事前に出願資格審査が必要です。詳細は「Ⅱ-3 出願資格審査」をご覧ください。  
注2) 9月入学者の方は、上記「2020年3月31日」を「2019年9月19日」と読み替えてください。

## 2 事前問い合わせ

出願前に指導予定教員へ入学後の研究計画等について問い合わせを行い、受入の同意を得てください。教員の連絡先は、edu@fun.ac.jp までお問い合わせください。

## 3 出願資格審査

出願資格(2)(i)については、出願前に資格審査を行いますので、申請期間内に書類を添えて申請してください。この時点では入学検定料を振り込む必要はありません。

### (1) 申請書類

- ① 出願資格審査申請書
- ② 履歴書
- ③ 研究計画書
- ④ 最終出身学校の成績証明書  
※大学、短期大学以外の者は、高等学校の成績証明書も併せて提出してください。
- ⑤ 最終出身学校の卒業(修了)証明書
- ⑥ 研究成果品とその要約
- ⑦ 業務実績書(職のある者のみ)

各書類の記入上の注意について「4 出願書類」をご覧ください。

### (2) 提出方法

「Ⅲ 出願上の注意」の「2 出願方法」と同じ方法で提出してください。

### (3) 出願資格審査結果

出願資格審査の結果は、2019年6月22日(土)までに本人に文書で通知しますので、許可を受けた者は出願期間最終日までに「4 出願書類」のうち、まだ提出していない書類を提出してください。

#### 4 出願書類

出願書類	提出が必要な書類		記入上の注意
	出願資格(2) (a)～(h)の者	出願資格(2) (i)の者	
志願票	○	○	<p>所定の様式に必要な事項を記入し、指導予定教員より確認印を受けること。</p> <p>本人現住所は受験票や合格通知書の送付先となります。</p> <p>志願者出身国の保証人と日本国内在住の保証人の両方を記載すること。</p> <p>縦4cm、横3cm 上半身無帽正面向きで、出願前3か月以内に撮影された写真を、所定の欄に貼り付けること。</p>
履歴書	○	出願資格書類	所定の様式に必要な事項を記入すること。
研究計画書	○	出願資格書類	志望理由、研究計画および目標等について、A4用紙2枚程度(様式自由)で記入すること。氏名、取り組みたい研究テーマを必ず書くこと。
最終出身学校の成績証明	○	出願資格書類	<p>厳封したもので、出願前3か月以内に発行されたものを提出すること。</p> <p>編入学等による認定科目がある場合は、編入学前の学校の成績証明書も併せて提出すること。</p>
最終出身学校の卒業(見込)証明書	○	出願資格書類	厳封したもので、出願前3か月以内に発行されたものを提出すること。
研究成果とその要約	もしあれば提出	出願資格書類	<p>研究成果品は次の①～④とし、複数の提出が可能。</p> <p>①研究論文(学会発表論文や高等専門学校等における卒業研究論文)※学会発表用論文には、学会の概略および志願者の出席が確認できる書類を添付してください</p> <p>②研究報告書(公的プロジェクトにおける成果報告書)</p> <p>③個人で制作したソフトウェアまたはハードウェアおよびその解説書</p> <p>④デザイン成果(作品・論文いずれかでも可)</p> <p>3点をファイル等へ綴った資料</p> <p>(注)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要約は、1点につきA4用紙2枚以内で様式自由とすること。</li> <li>・複数人による研究成果の場合は、本人分担部分を明記し、共著者や共同開発者の確認の署名が記載された書類を提出すること。</li> </ul>
最終出身学校の長または学部長の推薦状	○	○	様式自由
指導教員の推薦状	○	○	様式自由
業務実績書	職のある者のみ	出願資格書類 職のある者のみ	所定の様式に必要な事項を記入すること。
検定料の入金を証明する書類	○	○	-

旅券の写し	○	○	顔写真が分かるようにコピーすること。
日本語能力を示す書類	もしあれば提出	もしあれば提出	-
TOEFL, TOEIC または IELTS の成績証	○ 英語を母語とする者は不要	○ 英語を母語とする者は不要	-

(注) 必要に応じて、上記以外の書類の提出を求めることがあります。

## 5 選抜方法

書類選考，面接

(※必要があれば面接に代えて電子メールやスカイプ等により質問を行う場合がある)

## 6 試験日程

2019年8月7日(水)～8日(木)

面接集合時間については、後日文書でお知らせします。

## Ⅲ 出願上の注意

### 1 入学検定料

30,000円

日本円で30,000円になるように、以下の口座に入金し、送金を証明する書類を提出してください。また送金に係る手数料は、出願者が負担するものとします。

銀行名：みちのく銀行 函館営業部

口座番号：(普通) 091-2607311

口座名義：コリツダ イカクホシジン コリツダコダテミライダ イカク ケンテイヨウ リジチョウ カタギリ ヤスヒロ  
公立大学法人公立はこだて未来大学 検定料 理事長 片桐 恭弘

SWIFT コード：MCHIJPJT

検定料振込期間：2019年6月24日～7月5日【期間内必着】

(注) 一度納付された検定料は、理由のいかんを問わず返還しません。

### 2 出願方法

出願書類は本学所定の封筒に入れ、郵送または持参により提出してください。

**[申請期間最終日必着]**

提出先：函館市亀田中野町116番地2(〒041-8655)

公立はこだて未来大学 事務局教務課教務・図書担当

電話 0138(34)6419

持参の場合、受付時間は出願期間内の午前9時～午後5時です。また、土曜日、日曜日および祝祭日は受付できません。

### 3 その他

(1) 出願書類等に不備がある場合は受付できません。

(2) 出願後は書類等の内容を変更できません。

(3) 一度受付した出願書類および納付された入学検定料は、理由のいかんを問わず返還しません。

(4) 出願書類等に虚偽の記載をした場合、入学後であっても入学の許可を取り消します。

(5) 身体に障がいがある者のうち、受験上および修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願の

前にあらかじめ申し出てください。

#### IV 受験上の注意

- (1) 面接については、指定された時間までに面接控室に入室し、待機してください。
- (2) 携帯電話、スマートフォン、PHS、ウェアラブル端末等は、入室前にあらかじめ電源を切ってください。
- (3) 土曜日、日曜日および祝祭日は、昼食の販売はしておりませんので、各自で用意してください。(大学周辺に、弁当などを販売する店はありません。)
- (4) 宿泊の斡旋はいたしません。

#### V 合格発表

##### 1 合格発表日

2019年8月16日(金)

##### 2 合格発表の方法

合格者本人あてに文書で通知します。

#### VI 入学手続

##### 1 入学手続期間

2019年8月16日(金)～8月30日(金)

##### 2 入学手続方法

合格通知に同封する「入学手続案内」に従ってください。

###### (1) 入学金

合格通知書に同封する納付書により、入学手続期間内に支払っていただきます。現行の金額は次のとおりですが、2020年度については変更することがあります。

- ① 渡島・檜山管内の者 226,000円
- ② 上記以外の者 310,000円

(注) 渡島・檜山管内の者とは、本人または1親等の親族またはこれに準ずる者が、下記の市町村に2019年4月1日以前より引き続き住民登録している者をいいます。  
(入学手続時、住民票を提出していただきます。)

〔渡島管内〕函館市、北斗市、七飯町、松前町、福島町、知内町、木古内町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町

〔檜山管内〕江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、今金町、せたな町

###### (2) 学生教育研究災害傷害保険料および学研災付帯賠償責任保険料

現行の金額は次のとおりですが、2020年度については変更することがあります。

- ① 学生教育研究災害傷害保険料(2年間分) 1,750円
- ② 学研災付帯賠償責任保険料(2年間分) 680円

##### 3 入学手続上の注意

- (1) 期間内に手続きを完了しなかった者には、入学を辞退したものととして取扱います。
- (2) 必要な書類がすべて揃っていない場合は受付できませんので、よく確認してください。
- (3) 手続期間を過ぎて到着したものは受付しません。
- (4) 一度受付した入学手続書類および納付された入学料は、理由のいかんを問わず返却しません。

## **VII その他**

### **1 授業料**

現行の金額は次のとおりですが、2020年度については変更することがあります。

① 金額（年額） 535,800円

② 納入方法

前期（納付期限4月末）・後期（納付期限10月末）の2回（各267,900円）に分けて納付します。

### **2 奨学金、授業料免除および下宿・アパートについて**

これらについては、事務局教務課学生支援・就職担当（メール：stu@fun.ac.jp）にお問い合わせください。

### **3 入学後の授業について**

博士前期課程の授業は、日本語または英語で行われます。科目の詳細については、シラバス (<https://www.fun.ac.jp/en/graduate-school/syllabus>) を確認してください。

## Ⅷ 博士（前期）課程指導教員と研究分野一覧および研究領域

### 1 博士（前期）課程指導教員と研究分野一覧

指導担当領域： MA…情報アーキテクチャ領域 ICT…高度 ICT 領域 MD…メディアデザイン領域 CS…複雑系情報科学領域  
II…知能情報科学領域

※ 出願開始日までに担当領域の追加変更等が行われる場合がありますので、出願前に最新の情報を  
本学ウェブページ等で確認してください。

教 員 名		担当 領域	研 究 分 野
教 授	伊藤 精英	MD II	生態心理学, 視覚障害心理学, ヒューマンインタフェース, 認知科学
准教授	伊藤 恵	ICT	ソフトウェア工学, 教育システム情報学
教 授	稲村 浩	MA	モバイルコンピューティング, スマートデバイスのシステムソフトウェア, モバイルネットワークとセキュリティ
教 授	ヴァランス マイケル Vallance, Michael	MA	Task design in 3D immersive virtual learning environments
教 授	大澤 英一	II MA	人工知能, 自律エージェント, 大規模マルチエージェントシステム, 協調ロ ボット, 複雑ネットワーク
教 授	大場 みち子	MA ICT	ソフトウェア工学, 知的行動分析, ドキュメンテーションシステム, 教育支 援システム
教 授	岡本 誠	MD ICT	情報デザイン, インタラクションデザイン, シナリオベースドデザイン, ヒ ューマンインタフェース
准教授	奥野 拓	MA ICT	ソフトウェア工学, WEBサービス技術
准教授	加藤 浩仁	II	医療支援システム, 仮想空間
准教授	香取 勇一	CS	数理モデル, 計算論的神経科学, 神経ネットワーク
教 授	川口 聡	CS	統計力学, 非線形物理学
教 授	川越 敏司	CS	実験経済学, ゲーム理論, 人工市場
教 授	川嶋 稔夫	MA MD	情報メディア, 画像情報処理, ウェアラブル機器, 実世界情報処理, ディジ タルアーカイブ
准教授	姜 南圭	MD	感性科学, デザイン評価, 情報デザイン, プロダクトデザイン
教 授	木村 健一	MD	美学
教 授	齊藤 朝輝	CS	非線形科学
教 授	櫻沢 繁	CS	生物物理 (筋肉タンパク質の運動, 生命の起源と進化, 機能性高分子, タン パク質結晶成長), マンマシンインタフェース
准教授	佐々木 博昭	CS	機械学習, 統計的データ解析
准教授	佐藤 生馬	MA	コンピュータ外科, 医用画像工学, メディカル ICT, 生活支援, 画像処理
教 授	佐藤 直行	CS	脳科学, 計算論的神経科学, 生体計測
教 授	佐藤 仁樹	MA	レシピ設計支援ツール (食材・配合量の最適化), 非線形時系列の予測, 高次 元非線形システムの解析と最適化
教 授	姜 暁鴻	MA	無線ネットワーク, 光ネットワーク, ネットワークの保護, ミッションクリ ティカルネットワーク, ネットワークの攻撃検出/予防
教 授	白石 陽	MA	データベース, センサネットワーク, 高度交通システム, 地理情報システム
准教授	白勢 政明	MA	情報セキュリティ, 暗号理論, 高速実装

教 員 名		担当 領域	研 究 分 野
教 授	鈴木 恵二	II CS	マルチエージェントシステム, マルチロボットシステム, 機械学習, 最適化, ゲーム理論, 観光情報学
教 授	鈴木 昭二	II	移動ロボット, 超広角画像システム, ネットワークロボットサービス
教 授	角 薫	MD II	メディア情報学, アフェクティブ・コンピューティング, デジタル ストーリーテリング, 説得技術, 人工知能
教 授	角 康之	II MA	ヒューマンインタフェース, コミュニケーション, 人工知能, ライフログ
准教授	高木 清二	II	生命の物理学, 非線形・非平衡系の科学, 細胞運動, 細胞情報処理, パターン形成
教 授	高橋 信行	CS	統計的信号処理, 確率過程論, リモートセンシング, 電磁界理論, 近接場光学, 情報家電
准教授	竹川 佳成	MA MD	ヒューマンコンピュータインタラクション, 人間拡張 (Augmented Human), 教育工学, 音楽情報科学, エンタテインメントコンピューティング
准教授	竹之内 高志	CS	統計的機械学習, パターン認識
准教授	塚田 浩二	MA MD	ヒューマンコンピュータインタラクション, ユビキタスコンピューティング, インタラクティブデバイス, 日用品インタフェース, プロトタイピング, 発明
准教授	寺井 あすか	II	認知科学, 計算認知モデリング, 認知神経科学
准教授	寺沢 憲吾	MA	画像処理, 情報検索, アルゴリズム
教 授	中小路 久美代	MA MD	ヒューマンコンピュータインタラクションデザイン, 共創環境, 学習支援環境, 触発するミュージアム, データ体験, ソフトウェア開発支援, 知的創造活動支援
教 授	長崎 健	MA ICT	コンピュータビジョン, ウェアラブルシステム
教 授	中田 隆行	MD II	音楽知覚認知, 相互作用行為の神経科学, 音楽の神経科学
准教授	中村 嘉隆	MA	情報セキュリティ, ユビキタスネットワーク, 無線通信, 位置情報サービス
准教授	南部 美砂子	MD II	認知心理学, 認知科学, ヒューマンインタフェース, 人とモノ(人工物)のインタラクション
准教授	新美 礼彦	MA	データマイニング, データベース, 人工知能
教 授	花田 光彦	MD	視覚心理学, 視覚情報処理
教 授	原田 泰	MD	情報デザイン, コミュニケーションデザイン
教 授	平田 圭二	II CS	音楽情報学, 人工知能, コミュニケーション科学, 高度道路交通システム
教 授	藤野 雄一	MA	情報メディア, ビジュアルコミュニケーション, 画像処理, 医療情報, 遠隔医療
教 授	フランク イアン Frank, Ian	II	人工知能, ゲーム理論, 説明生成, エンタテインメントシステム, インタラクション
准教授	松原 克弥	MA ICT	オペレーティングシステム, システムソフトウェア, 仮想化技術
教 授	松原 仁	II MD	人工知能, ゲーム情報学, 観光情報学, 災害情報学, エンタテインメントコンピューティング, ロボティクス
教 授	三上 貞芳	II MA	ロボティクス, インテリジェントコントロール, ライフサポート技術
教 授	美馬 のゆり	MD	学習環境デザイン, 教育工学, ヒューマン・インタフェース, 科学コミュニケーション
教 授	美馬 義亮	MD MA	インタラクティブシステム, 実世界指向システム, インターネットアプリケーション, 情報表現, 発想支援



教 員 名		担当 領域	研 究 分 野
教 授	宮本 エジソン 正	II	言語理解, 認知科学
教 授	迎山 和司	MD	コンピュータアート, ヒューマンコンピュータインタラクション
准教授	村井 源	II	テキストマイニング, デジタル・ヒューマニティーズ, 計量文献学, 感性工学, メディア情報学, 人工知能
准教授	安井 重哉	MD	ヒューマンインタフェースデザイン
教 授	柳 英克	MD	情報デザイン, 造形デザイン, メディアアート
教 授	由良 文孝	CS	離散可積分系, セルオートマトン, 量子情報理論
教 授	リアボフ ウラジミール Riabov, Volodymyr	CS	Deterministic chaos in nonlinear oscillatory systems. Signal processing with applications in astrophysics and geophysics.
教 授	和田 雅昭	MA	IoT, 水産情報学, マリン IT

## 2 研究領域

### (1) 情報アーキテクチャ

本領域は、コンピュータの使い手であり、かつ、情報の送り手・受け手でもある「人間」の特性を中心にすえた情報システムの実現を目指します。これに加えて、その情報システムを手際よく開発し、安全かつ効果的に運用するためのプロセスを追及しています。本領域ではこれらに対応するために、ネットワーク社会にふさわしい音声や画像を扱う情報メディア技術、モバイル・ユビキタス情報システムを構築するための情報ネットワーク技術・センシング技術、ユーザの希望に沿った情報システムを速やかに構築するためのソフトウェア開発技術の修得をめざした教育を行います。

### (2) 高度 ICT

学部・大学院一貫（6年）で教育を行います。実社会におけるビジネス・マネジメントを念頭に実践力を磨き、現在日本の産業界が求めている人材、今後の社会システムの基幹となるソフトウェアの斬新なデザインと精緻な実装能力を持った高度ソフトウェア技術者、将来プロジェクトリーダーとして活躍できる人材を育成します。

### (3) メディアデザイン

本領域では、情報技術を用いた人間とモノや環境のインタラクションに関する研究を行います。情報デザイン、インタラクティブシステム、認知心理学などの専門分野を基盤として学び、人間性を重視した新しいインタラクティブシステムやデザイン理論などを研究します。使いやすく分かりやすいヒューマンインタフェースを設計する力、有用で親しみやすいインタラクティブシステムを構築する力を身につけた、社会のニーズに応えられる人材の育成を目指します。

### (4) 複雑系情報科学

本領域は、自然界のみならず大規模な人工システムに生じる要素間の相互作用に起因する豊かで多様な現象を、情報科学および数理学を基礎に普遍的に理解し、それに基づく革新的な情報処理技術の開発に挑みつつ、人間の自然科学観にパラダイム転換をもたらしつつあるものです。情報科学、自然科学、社会科学、生命科学など、広い範囲の領域・分野にまたがる学問で、研究対象は個々の要素ではなく、構成要素間に大規模で、豊かな相互作用を持つ学際領域に在ります。そのため、各領域・分野に関する深い理解と知識が必要不可欠となるばかりでなく、対象を情報システムとして普遍的に考えることが常に求められます。

#### (5) 知能情報科学

本領域は、数理学と計算機科学をベースにして、多くの学際的な学問分野からの知見をとりこみ、人間の知能を解明してモデルを構築し、コンピュータもしくはロボットを用いて人間の高次知能を実現していく分野です。具体的には人間にみられる知覚、推論、理解、学習、意思決定、行動、協調などの高次知能の基礎理論を構築し、それらにもとづく人工知能システム、ソフトウェアエージェント、ロボットの設計、構築、応用を目指す領域です。